

「さくらんぼ産地サポーター企業」参加のお願い

さくらんぼは、本県を代表する農産物で、全国の7割のシェアを占め、さくらんぼと言えば山形県、山形県と言えばさくらんぼで、まさに本県は「さくらんぼ県」です。

一粒一粒丁寧に収穫され、全国の消費者に届けられるさくらんぼですが、近年は、高齢化と人手不足により労働者の確保が難しく、もぎきれずに園地に残った果実も見受けられます。

さくらんぼは、農産物のけん引役であるばかりでなく、観光や食品産業など関連産業を含め、本県にとって経済波及効果の大きい非常に重要な基幹品目でもあります。

山形県がさくらんぼ日本一の産地として、さらに発展していくためには、地元の協力が不可欠です。県内企業で働くさくらんぼ農家の家族の方々がさくらんぼの生産にも協力できるよう、農繁期に働きやすい職場環境づくりや、企業におけるさくらんぼ収穫応援による地域貢献活動など、企業の皆様にも「山形県の顔」を支えていただくことが、今、さくらんぼ産地には必要です。

このたび、これらの実現に向け、「さくらんぼ産地サポーター企業」を募り、山形のさくらんぼを共に応援し、本県さくらんぼ産地を支える取組みを実施することといたしました。

つきましては、「さくらんぼ産地サポーター企業」の趣旨に御賛同いただき、積極的に御参加くださるようお願い申し上げます。

平成29年4月

さくらんぼ労働力確保推進協議会
会長 白田 洋一
(山形県農林水産部長)

【さくらんぼ労働力確保推進協議会】とは

平成27年4月に、主産地のさくらんぼ労働力確保に取り組むため、山形県農林水産部長を会長とし、主産地の天童市・寒河江市・東根市、JAてんどう・JAさがえ西村山・JAさくらんぼひがしね、JA山形中央会、JA全農山形、ハローワーク、シルバー人材センター連合会、子育てNPOなどで構成した協議会です。